平成３０年度珠洲市立正院小学校
学校評価書（中間自己評価）

❀ 平成２９年度最終報告における本校の課題

◇新学習指導要領の主旨を活かした実践の推進
◇学力や生活の向上につながる家庭との連携

❀ 平成３０年度の重点取組目標

①確かな学力の育成（創造）

目標１	**学んだことを活用して考え、説明する力を育てる**
目標２	**家庭学習の定着と充実をはかる**

②豊かな心の育成（自主）

目標３	**達成感を持たせる活動を通して、自尊感情を高める**

③健やかな体の育成（健康）

目標４	**「早寝・早起き・朝ごはん」の定着をはかる**

①確かな学力を育てる（創造）

目標１　学んだことを活用して考え、説明する力を育てる

<table>
<tr><td>取　　組</td><td colspan="3">・図と式と言葉で端的に説明させる工夫
（わかりやすい例示→発表ボードを使った説明）
・学習に向かう姿の明示（めざす正院っ子）</td></tr>
<tr><td>中間自己評価
A：予定通り・以上の進捗状況
B：一部改善が必要
C：大幅な改善が必要</td><td>A</td><td colspan="2">・職員アンケートから、職員が取組の充実と成果の手ごたえを感じていることがわかる
・児童・保護者アンケートでも、「授業のわかりやすさ」について、肯定的な評価である</td></tr>
<tr><td>後期に向けた取　組</td><td colspan="3">・低学年から高学年、中学校までの連続性を意識した指導
・学習用語等を正しく使って説明する</td></tr>
<tr><td>自己評価に基づく改善策の適切さ
○：　適切である
△：　一部見直しが必要
×：　大幅な見直しが必要</td><td>○</td><td>ご意見等</td><td>・児童の発言に対してどう思ったかを、どのクラスでも確認しており、丁寧に指導している。
・手の挙げ方も元気がよい。</td></tr>
</table>

目標２　家庭学習の定着と充実をはかる

<table>
<tr><td>取　　組</td><td colspan="3">・家庭学習の内容の工夫（授業との関連付け）
・家庭学習の手引き
・家庭学習がんばろう週間（緑丘中との連携）
・学習目標時間の設定</td></tr>
<tr><td>中間自己評価
A：予定通り・以上の進捗状況
B：一部改善が必要
C：大幅な改善が必要</td><td>B</td><td colspan="2">・目標達成率は全学年９０％前後で、目標をほぼ達成できた
・算数の自主学習を行う児童、書き方を意識できた児童、読書をしている児童が増えたが、個人差がある</td></tr>
<tr><td>改　善　策</td><td colspan="3">・自主学習ノートの書き方を例示する
・「学習した図を使う」など、自主学習の視点を与える</td></tr>
<tr><td>自己評価に基づく改善策の適切さ
○：　適切である
△：　一部見直しが必要
×：　大幅な見直しが必要</td><td>○</td><td>ご意見等</td><td>・きめ細かな家庭学習指導を行っているが、これは子どもをよく知らないとできない。少人数だからこそできる指導でもある。
・家庭の事情もあるので、個人差への対応は大変だと思う。</td></tr>
</table>

②豊かな心の育成（自主）

目標３　**達成感を持たせる活動を通して、自尊感情を高める**

<table>
<tr><td>取　　組</td><td colspan="3">・児童一人ひとりの良いところやがんばりを認める声かけ
・児童理解の会「たんぽぽ」での課題や対応の共有
・たてわり班活動での異学年交流（助け合い・感謝）
・地域のひと・もの・ことと触れ合う活動（クラブなど）</td></tr>
<tr><td>中間自己評価
A：予定通り・以上の進捗状況
B：一部改善が必要
C：大幅な改善が必要</td><td>A</td><td colspan="2">・不登校、いじめ認知件数は0件
・「学校へ行くのが楽しい」と答えた児童が、１００％
・児童の些細な変化について職員相互で気づきを共有している
・縦割り班活動での異学年交流や、クラブ活動等での地域講師の方との交流が、「認められる場」を広げている</td></tr>
<tr><td>後期に向けた取　組</td><td colspan="3">・全校集会や学級活動などで、人間関係づくりの授業を行う
・ボランティア活動を通して、役に立つ喜びを経験させる</td></tr>
<tr><td>自己評価に基づく改善策の適切さ
○：　適切である
△：　一部見直しが必要
×：　大幅な見直しが必要</td><td>○</td><td>ご意見等</td><td>・クラブ活動の様子を見ていると、それぞれ個性は違うが、皆積極的だと感じる。
・地域の人への挨拶を恥ずかしがる子もいるが、こちらが挨拶すれば返す子がほとんどである。</td></tr>
</table>

③健やかな体の育成（健康）

目標４　**「早寝・早起き・朝ごはん」の定着をはかる**

<table>
<tr><td>取　　組</td><td colspan="3">・就寝時間の調査と、児童・家庭へのお知らせ
・体力アップの取組（スポチャレいしかわへの参加）</td></tr>
<tr><td>中間自己評価
A：予定通り・以上の進捗状況
B：一部改善が必要
C：大幅な改善が必要</td><td>B</td><td colspan="2">・ほとんどのクラスが目標を達成できた
・「家族の生活時間に合わせて児童も就寝時間が遅くなる」というケースへの対応を考える必要がある</td></tr>
<tr><td>改　善　策</td><td colspan="3">・「早寝」の大切さについて、家庭へのお知らせを続ける
・学級指導や全校集会での全体指導を行う
・後期の体力アップの取組（持久走・なわとび）と合わせて指導する</td></tr>
<tr><td>自己評価に基づく改善策の適切さ
○：　適切である
△：　一部見直しが必要
×：　大幅な見直しが必要</td><td>○</td><td>ご意見等</td><td>・家庭のことなので、踏み込んだ指導は難しいのではないか。
・マナーなどについて孫から教わることもあり、学校で子ども達に指導することは効果的である。</td></tr>
</table>